2017年度 決算説明会

2018年5月22日

あすか製薬株式会社

2017年度
連結決算概要

あすか製薬株式会社
専務取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書（連結）

単位：百万円

	2016年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	48,527	48,944	416	0.9%
売上原価	29,614	30,059	446	1.5%
売上総利益	18,913	18,884	△ 28	△ 0.2%
販売費及び一般管理費	17,119	16,060	△1,058	△ 6.2%
営業利益	1,793	2,824	1,030	57.4%
経常利益	2,002	3,073	1,070	53.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,944	2,388	△ 555	△ 18.9%

事業別売上高（連結）

単位：百万円

	2016年度	2017年度	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	44,083	44,127	90.2%	44	0.1%
動物用医薬品	4,160	4,572	9.3%	412	9.9%
その他	284	243	0.5%	△ 40	△14.2%
合計	48,527	48,944	100.0%	416	0.9%

主要製品売上高

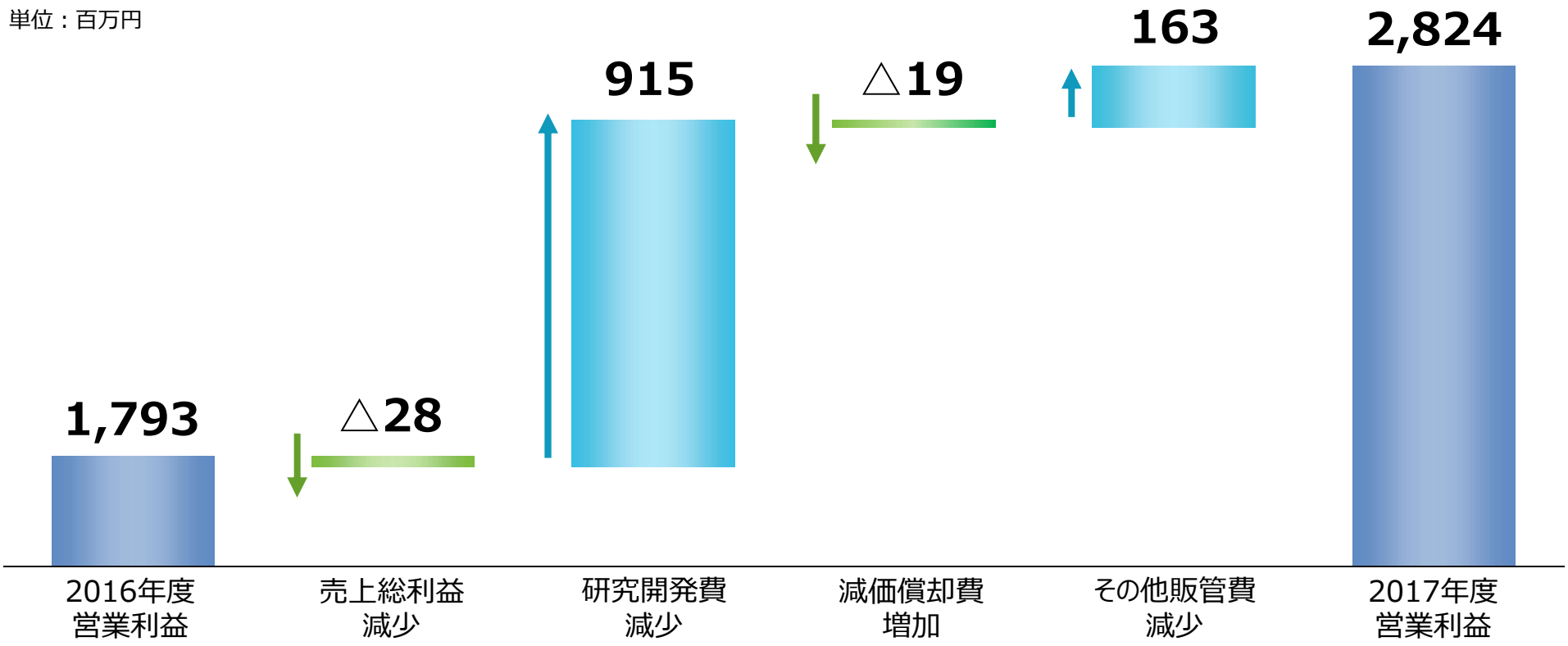
単位：百万円

領域	製品		2016年度	2017年度		2018年度	
			実績	実績	前同比（%）	計画	前同比（%）
内科	※1、※2	カンデサルタン類	12,748	13,226	103.8%	11,729	88.7%
		チラーヂン	5,449	4,912	90.2%	5,521	112.4%
		リピディル	4,407	4,292	97.4%	3,379	78.7%
	※1	アムロジピン	1,672	1,616	96.6%	1,373	85.0%
		メルカゾール	1,137	1,096	96.4%	1,152	105.0%
		リフキシマ	136	1,062	779.4%	2,936	276.5%
産婦人科		ノルレボ	1,139	1,208	106.1%	1,257	104.0%
		アンジュ	934	894	95.8%	896	100.1%
		メノエイド	656	736	112.0%	670	91.1%
		ルテウム	323	416	128.9%	414	99.5%
泌尿器科	※1、※3	リュープロレリン	3,841	4,164	108.4%	4,536	108.9%
	※1	ビカルタミド	1,782	1,576	88.5%	1,171	74.3%
		プロスタール	810	710	87.7%	449	63.2%

※1 ジェネリック医薬品
※2 配合剤を含む
※3 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mgと合算

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



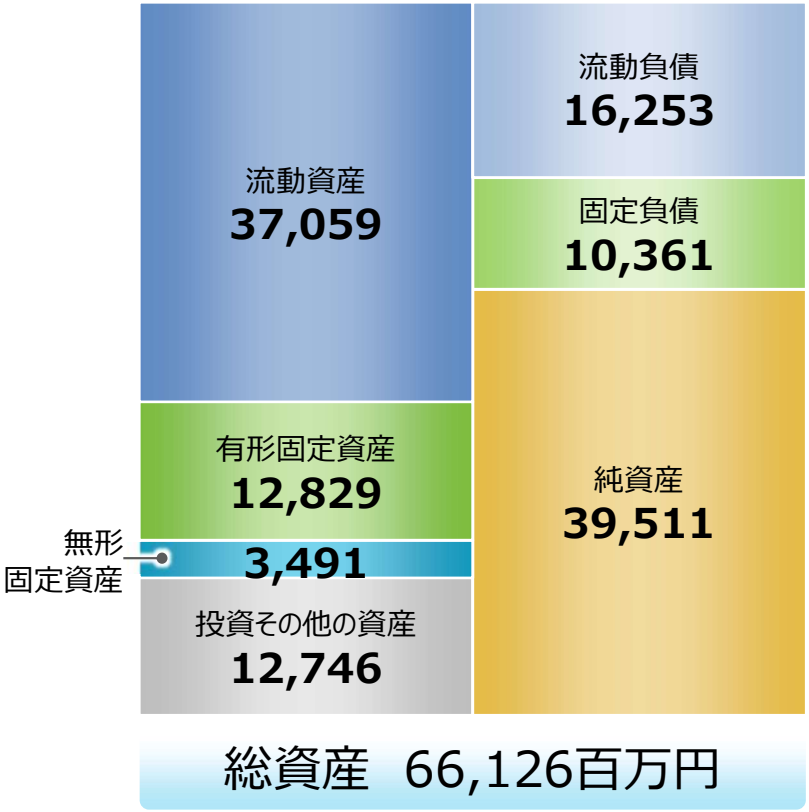
要因分析

- 研究開発費を中心とした販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は増加

貸借対照表（連結）

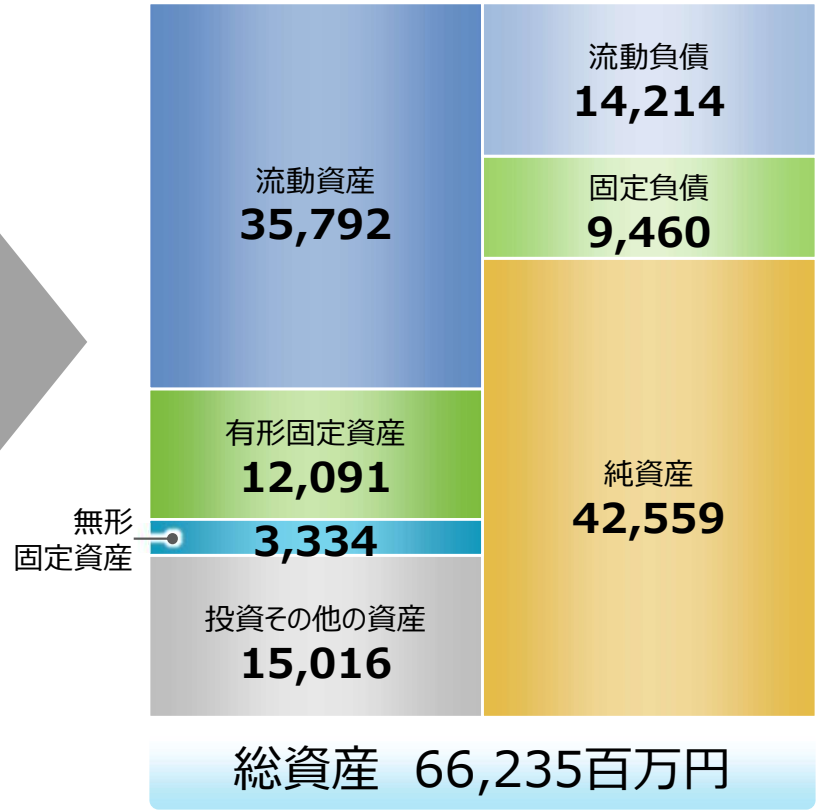
2016年度末

単位：百万円



2017年度末

単位：百万円



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産	流動負債	固定負債	純資産
増減額	108	△1,267	△738	△157	2,270	△2,039	△900	3,048

2018年度予想（連結）

単位：百万円	2017年度 実績	2018年度 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	48,944	49,000	56	0.1
営業利益	2,824	1,000	△1,824	△64.6
経常利益	3,073	1,200	△1,873	△61.0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,388	1,000	△1,388	△58.1

要因

- 売上高は、本年４月の薬価改定による減収要因はあるものの、「リフキシマ錠」の更なる市場浸透等や新製品の投入によりカバーし、前年並みを維持する見通し
- 利益面は、開発候補品関連のオプション料の支払等による研究開発費の増加が見込まれることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも減益となる見込み

2017年度総括
2018年度の取り組み

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

目次

- 2017年度の総括
- 2018年度以降の取り組み
  - リフキシマ価値最大化にむけて
  - スペシャリティ領域への取り組み
  - 開発パイプライン
  - 新規ビジネスへの取り組み

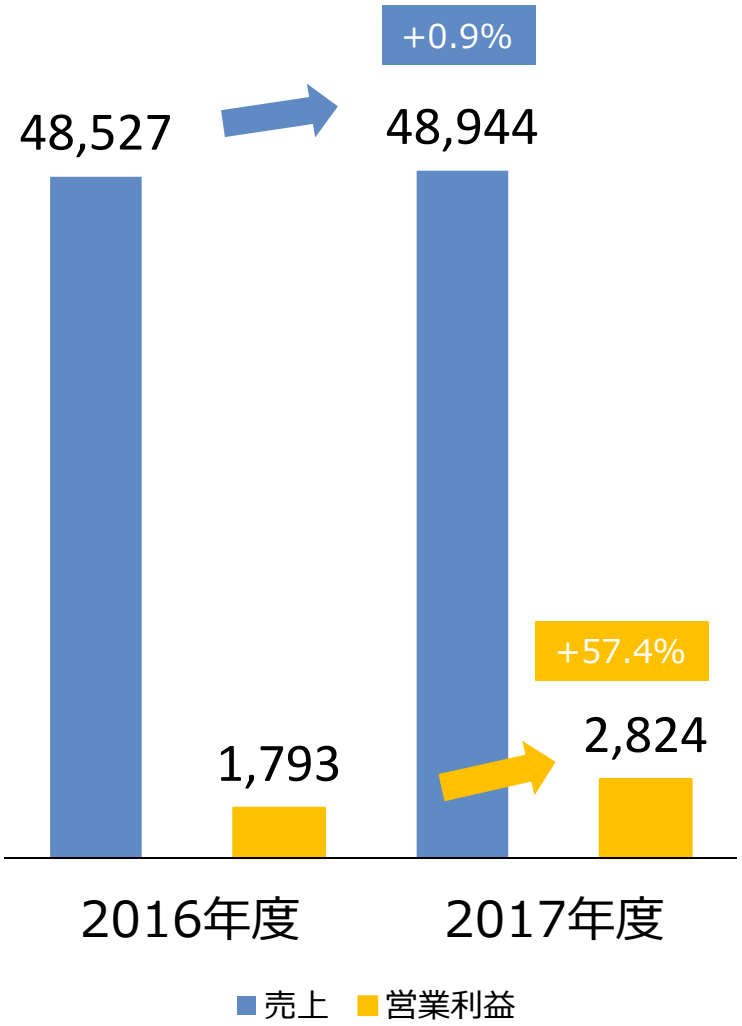
目次

- 2017年度の総括
- 2018年度以降の取り組み
  - リフキシマ価値最大化にむけて
  - スペシャリティ領域への取り組み
  - 開発パイプライン
  - 新規ビジネスへの取り組み

2017年度の総括

業績の概要

単位：百万円



主要な取り組み・成果

- リフキシマ長期処方解禁後の浸透
- AG/GEのシェア維持・伸長
- アライアンス推進
  - CDB-2914開発加速化
  - 体外診断薬 コ・プロモーション開始
- 開発パイプライン進展
  - CDB-2914　Phase Ⅲ開始
  - 自社創製品の非臨床推進
- ERP運用体制の構築

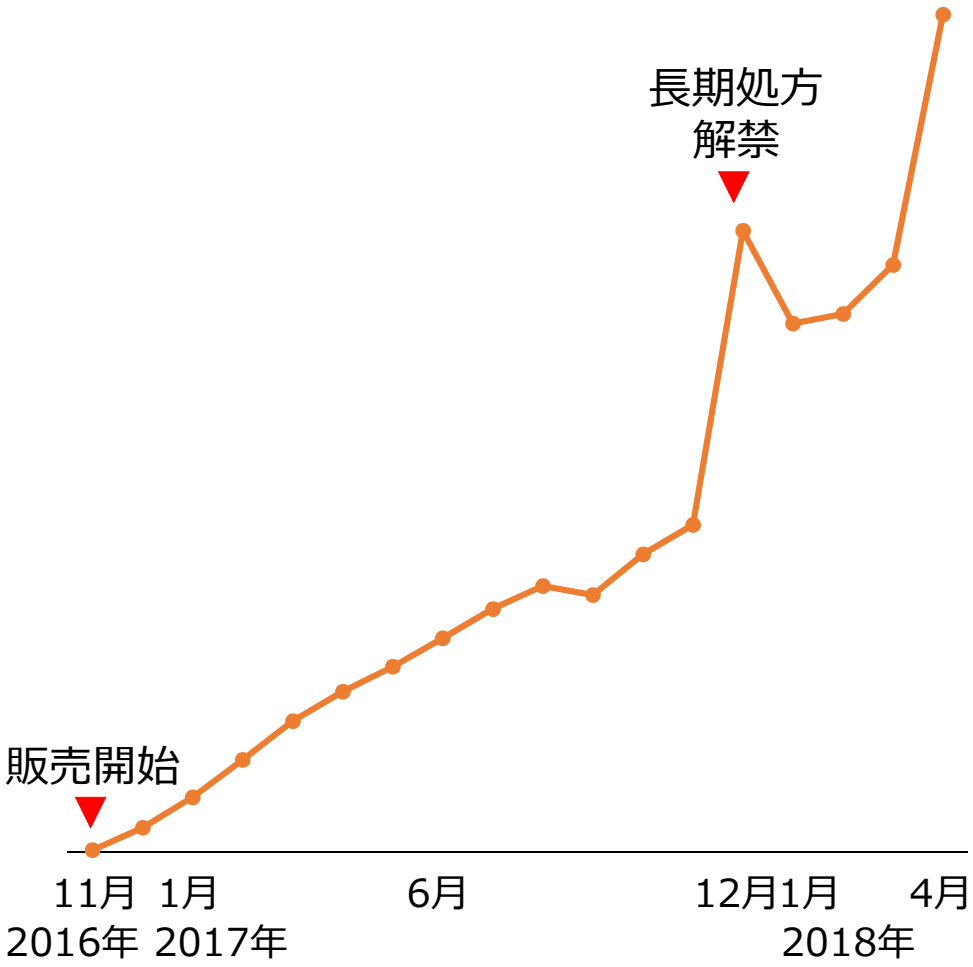
薬価改定の影響　約▲１１％

目次

- 2017年度の総括
- 2018年度以降の取り組み
  - リフキシマ価値最大化にむけて
  - スペシャリティ領域への取り組み
  - 開発パイプライン
  - 新規ビジネスへの取り組み

リフキシマの状況 – 長期処方解禁後の浸透

発売以降のトレンド（医療機関納入ベース）



主な取り組み

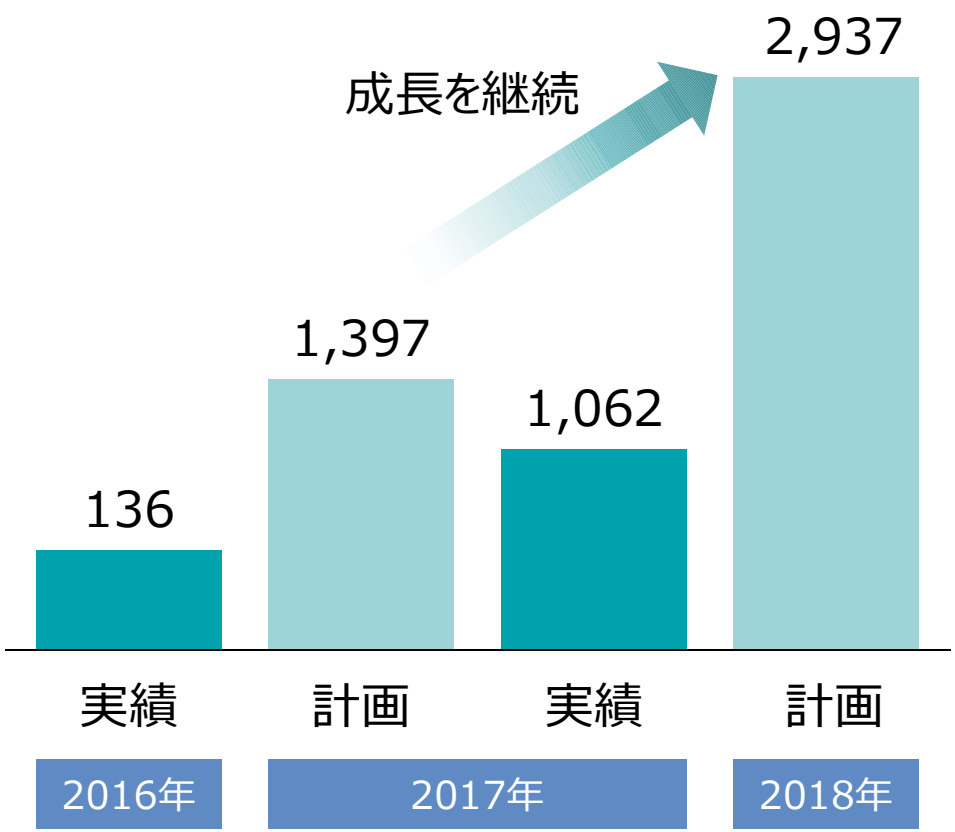
- 医療関係者への継続的な情報提供
  - 全例調査と調査票回収
  - 講演会・勉強会の実施
- 一般の疾患認知度向上
  - ウェブサイト活用
  - 一般紙への疾患情報の提供



リフキシマ価値最大化を推進

実績と計画の推移

単位：百万円



今後の取り組み

リフキシマ拡大にむけて

- 情報提供体制
  - 全例調査　当局への報告
  - 疾患啓発の継続
  - 専任MRの導入
- LCM
  - クローン病　Phase Ⅰ　スタート
  - 肝性脳症（小児）準備中

クローン病適応追加の取り組み

製剤特性

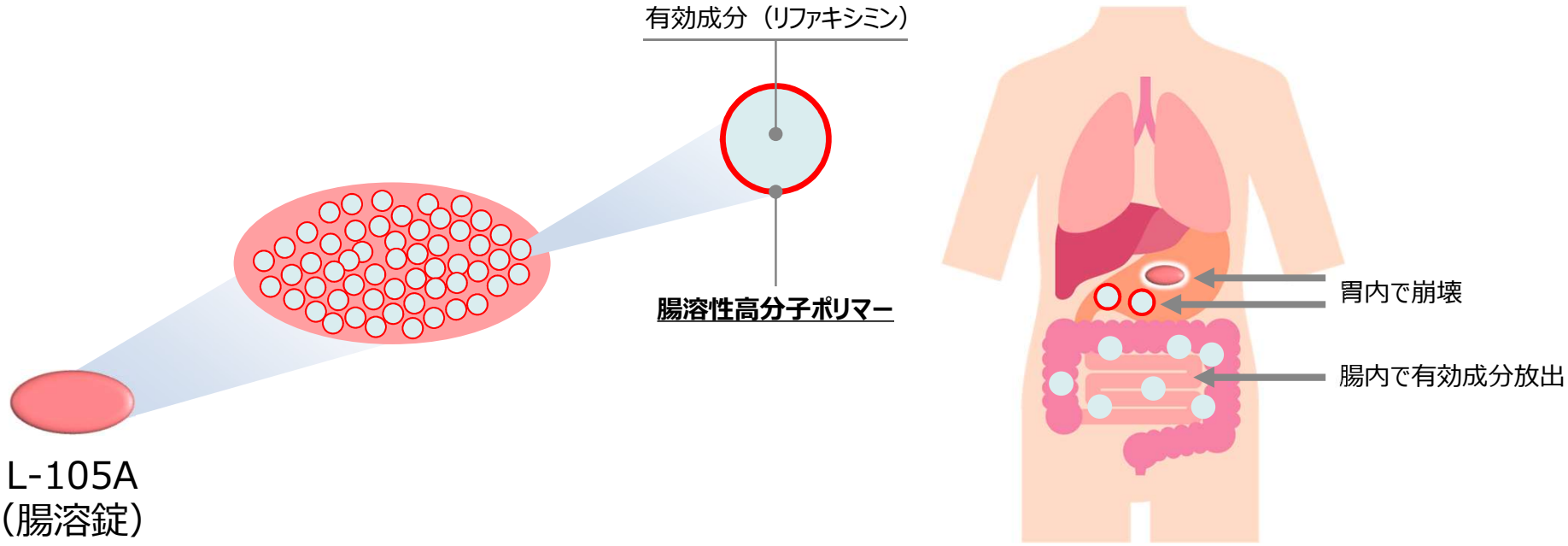
腸溶性の高分子ポリマーで有効成分をコーティングした顆粒によって錠剤を構成。

錠剤は胃内で崩壊し、小腸に到達後にリファキシミンが消化管内に放出される。

Phase Ⅰの概要

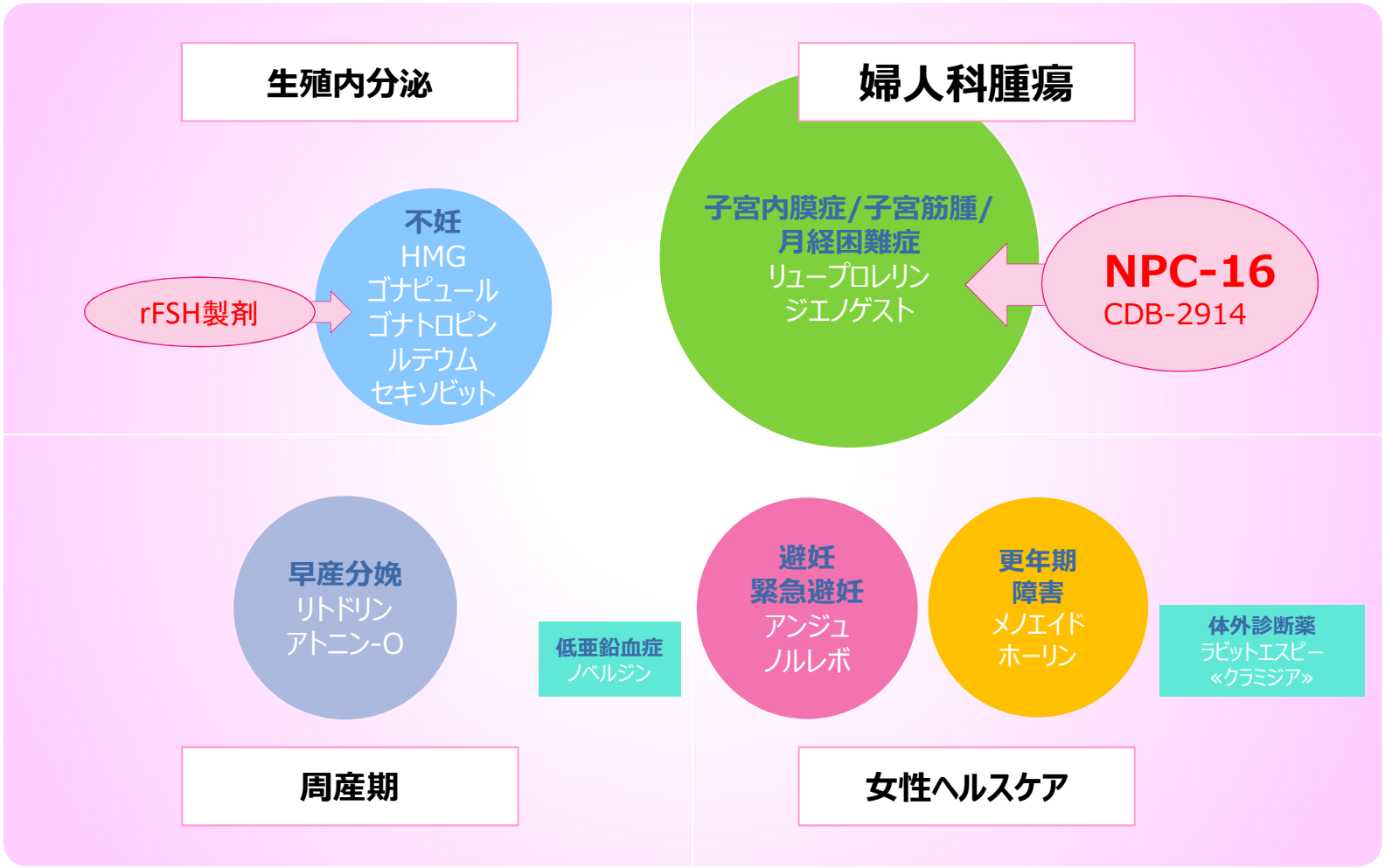
- 対象：健康成人男性　単回・反復投与
- 期間：2018年4月~2018年12月

イメージ



産婦人科領域でのプレゼンス向上

継続的に新製品を投入し、領域のトップメーカーを目指す



ノーベルファーマ社との
産婦人科領域における包括的業務提携の推進

包括提携の進捗

2016年11 月
　産婦人科領域における包括的業務提携契約により、両社での同領域での協力体制をすすめる

2017年3月
　低亜鉛血治療薬「ノベルジン錠25mg・50mg」に関する産婦人科領域でのコ・プロモーションを開始

NPC-16

製造販売承認	ノーベルファーマ
承認時期	2018年6月（予定）
販売名	ジェミーナ配合錠（予定）
契約	共同販促（コ・プロモーション）
適応症	月経困難症（予定）
作用機序	① 排卵抑制 ② 子宮内膜の増殖を抑制 ③ PG産生を抑制

甲状腺領域への取り組み

シーズ探索



内分泌事業推進室の設立
あすか製薬メディカル検査事業

提携・開発



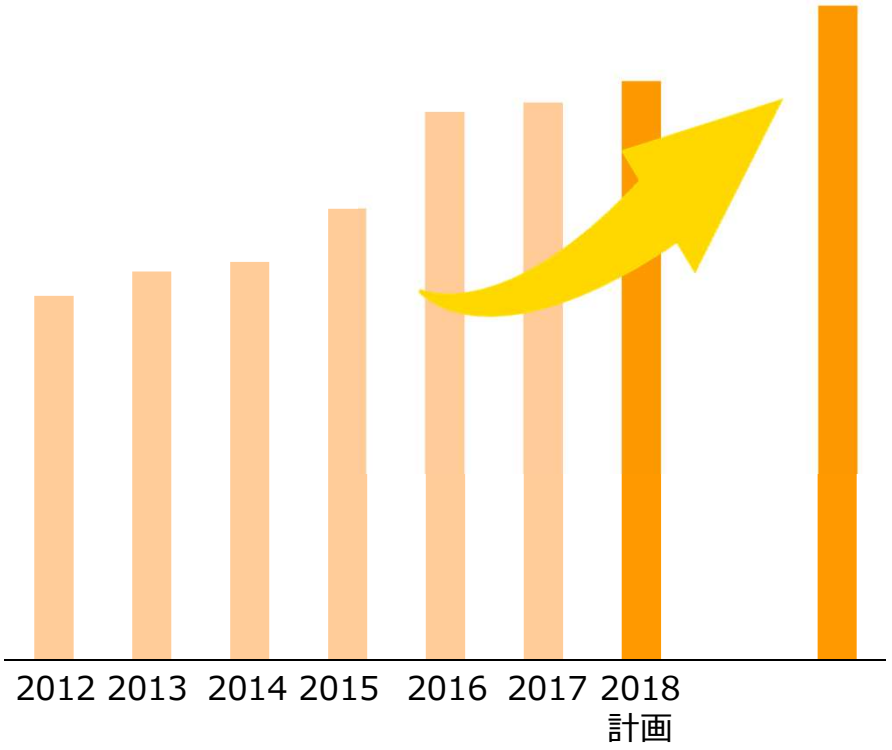
チラーヂンS錠 規格追加
抗甲状腺薬 承継（2015年）
AKP-015（T4注射剤）開発開始
メルカゾール半量製剤の検討

販売戦略



一般向け疾患啓発
医療関係者向け情報提供
WEBサイト リニューアル

甲状腺製剤の販売トレンド
（医療機関納入ベース）



基盤領域として継続的に注力する

開発パイプライン

研究開発の状況 （2018年5月時点）

前回からの変更点

開発コード／領域･効能	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	申請	承認
CDB-2914（ウリプリスタル） 子宮筋腫					
AKP-501（rFSH製剤） 不妊症					
リファキシミン クローン病	Ph Ⅰ 開始				
リファキシミン 肝性脳症（小児）	（準備中）				
AKP-015（T4注射剤） 粘液水腫性昏睡/重症甲状腺機能低下症	Ph Ⅰ 開始				
AKP-009 前立腺肥大症	（準備中）				
NPC-16 婦人科領域（月経困難症）					（6月予定）

※ノーベルファーマ開発および製造販売

自社創製　AKP-009 臨床試験開始

開発コンセプト

※詳細なプロフィールは非開示

- 新規アンドロゲン受容体モジュレーター
- 前立腺体積を早期かつ強力に縮小させる
- 排尿機能改善効果が期待できる
- 性ホルモンバランスに及ぼす影響が小さい

適応症（予定）

- 前立腺肥大症

市場性（推計）

- 前立腺肥大症の患者数　約51万人
  （厚生労働省 平成26年患者調査）

Phase Ⅰ 試験の概要（予定）

- 対象：健康成人男性
- 期間：2018年5月～2019年2月

新規ビジネスへの取り組み

Neopharma LLCとの合弁会社設立合意

2018年4月　医薬品製造を目的とした合弁会社をインドに設立することで合意。

高品質な医薬品を低コストで製造するグローバルな生産拠点を持つことで、医薬品事業の拡大を図る。

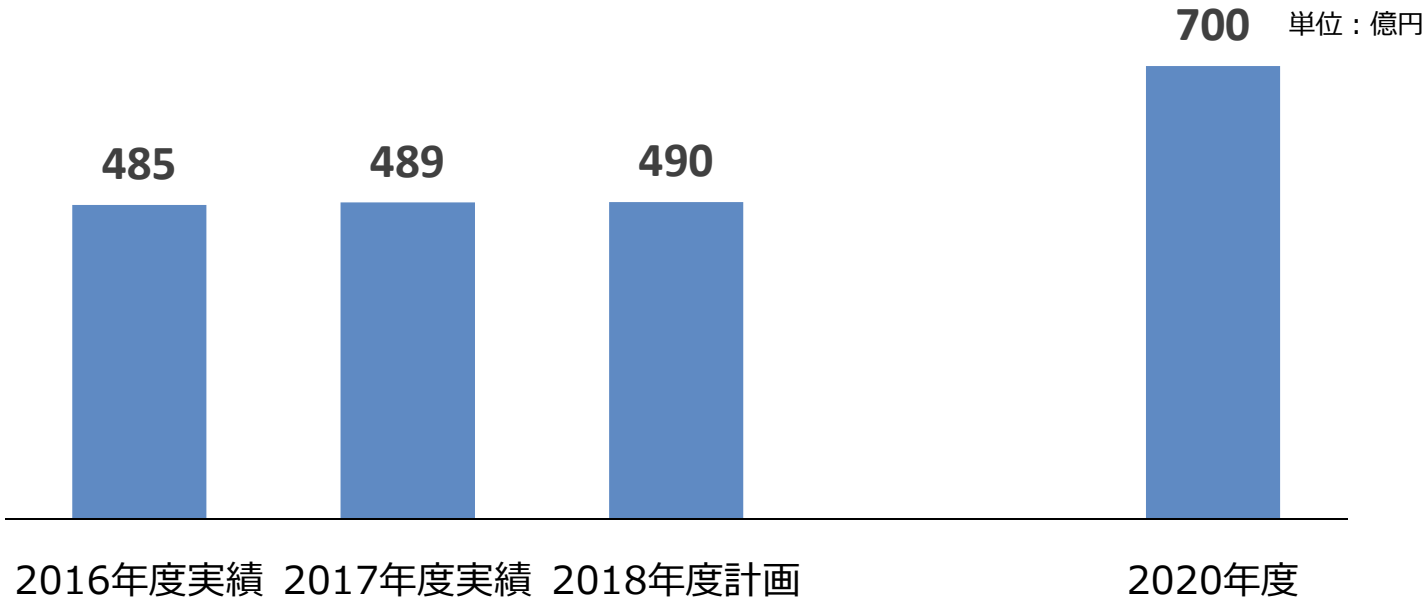
合弁会社の概要	
名称	未定
所在地	インド共和国 アーンドラ・プラデーシュ州
代表者の役職・氏名	未定
事業内容	医薬品の製造・販売
資本金	12.5百万米ドル
出資比率	Omnicare社※70%・あすか製薬 30%

※Omnicare社はNeopharma LLCの子会社



ASKA PLAN 2020

連 結	2016年度	2017年度	2018年度	2020年度
	実績	実績	計画	想定目標
売上高	485億	489億	490億	700億
営業利益率	3.7%	5.8%	2.0%	10.0%
ROE	7.8%	5.8%	2.4%	8.0%



環境が大きく変化している中で、複数の施策を検討中であり、現状の数値目標を精査

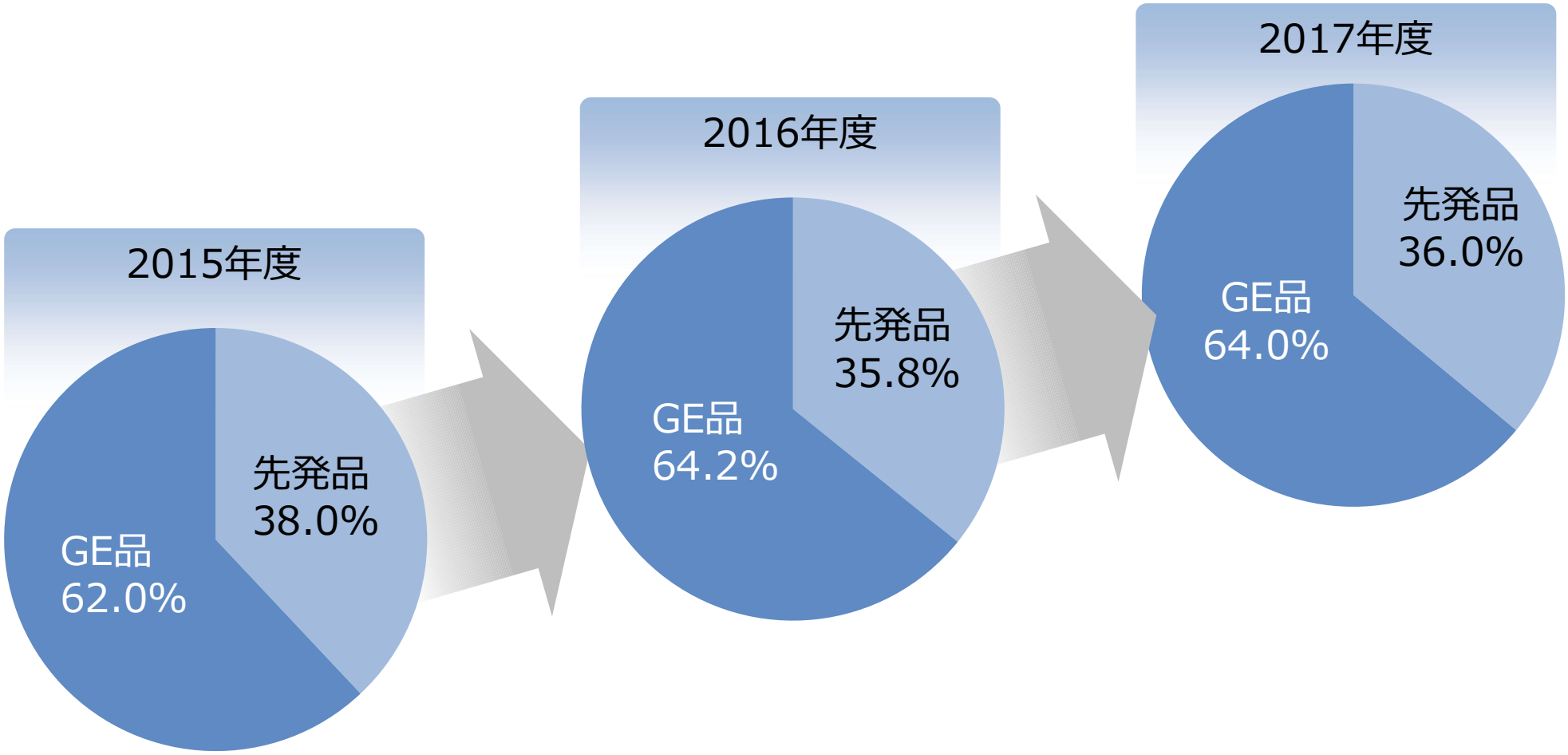
先端の創薬を通じて、

人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

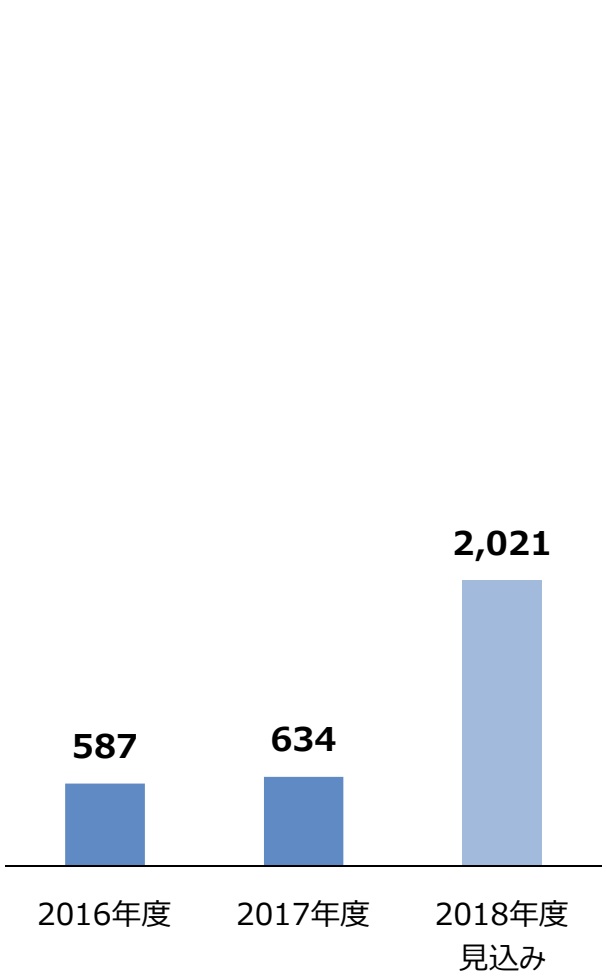
参考：医療用医薬品の売上構成比



参考：設備投資・減価償却費・研究開発費

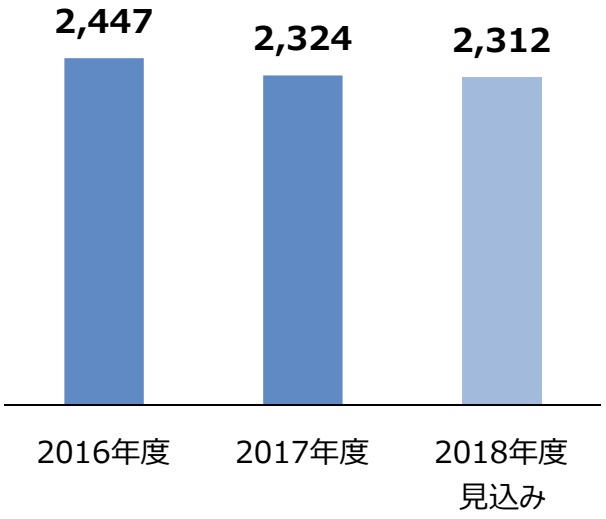
設備投資

（百万円）



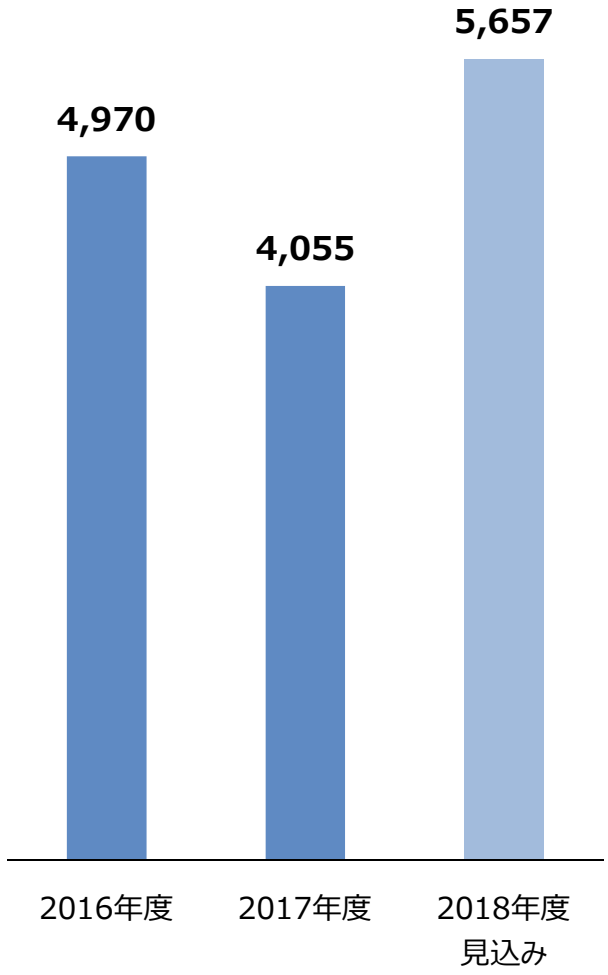
減価償却費

（百万円）



研究開発費

（百万円）



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

